

福島第一原子力発電所の状況

2015年9月9日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (9/9 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.5 m ³ /h	27.5	1.1 kPa g	A系： 0.01 vol %
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	33.6	4.45 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.01 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	32.1	0.25 kPa g	A系： 0.05 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.2 m ³ /h			B系： 0.06 vol %

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (9/9 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	27.0
2号機	循環冷却システム	運転中	27.5
3号機	循環冷却システム	運転中	23.7
4号機	循環冷却システム	運転中	22.8

各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/8 14:45 ~ 9/9 7:42 移送実施
			9/9 13:39 ~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/8 14:45 ~ 9/9 7:43 移送実施
			9/9 13:39 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (9/9 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中	稼働中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/9/9 3号機原子炉格納容器機器ハッチからの漏えい状況等の確認、および今後の自走式小型調査装置による調査実施の判断を行うため、小型カメラを用いた機器ハッチ調査を実施。

- ・2015/9/9 K排水路の排水については、同排水路内に設けた堰と移送ポンプにより、港湾内に繋がるC排水路へ移送しているが、K排水路に設置したカメラ映像を確認したところ、降雨の影響により 0:28～2:34、3:58～4:24の間で雨水が堰を乗り越え、外洋側へ一部排水されていることを確認。その後はK排水路内の雨水は全てC排水路に移送しており、外洋への排水はなし。なお、C排水路に移送するポンプの稼働状況は、0:28時点で全8台中8台が稼働していた。
- ・2015/9/9 10:40頃、タンクパトロール中の当社社員が、H5タンクエリアに設置された内堰の北東側の継ぎ目から雨水が漏れいしていることを発見。このため10:45にH5タンクエリア外堰の排水弁を閉にし、H5タンクエリア堰内に溜まっている雨水については11:24にH6タンクエリア堰内への移送を開始。また、当該の漏れい箇所については、土嚢を設置。漏れい当初はえんぴつの芯2本分の漏れいであったが、暫定処置として継ぎ目に詰め物を行い、1秒に2滴程度で土嚢に替えてドレンパンで受け、現在堰外への流出はない。なお、当該エリアに設置されているタンクの水位に変動が無いこと、およびB・C排水路の連続側溝モニタにおいて有意な変動が無いことを確認。
- ・2015/9/9 12:45頃、入退域管理棟2階のトイレにて、協力企業作業員が意識不明の状態で見つされたため、12:56に救急車を要請。当該作業員は12:57に入退域管理棟救急医療室へ入室したが、心肺停止の状態だった。その後、13:32に救急車で出発し、15:10に搬送先のいわき市立総合磐城共立病院にて死亡を確認。
- ・2015/9/10 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開予定。
*天候などの状況により、日程変更の可能性あり。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28～ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

[海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]

- [2号機]・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約4,500m³の除去完了。7/10 充填完了。
- [3号機]・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約5,500m³の除去完了。8/27 充填完了。
- [4号機]・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- ・2015/9/14 準備が整い次第、一時貯水タンクから港湾内への排水を開始予定。
*天候などの状況により、日程変更の可能性あり。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日8/27]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。9/9 10:03より海洋への排水開始。同日10:10に異常がないことを確認。

[1～3号機放水路の状況]

- 1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏れいについて]

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況]

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 海水サンプリング実績 >

・9/7 に採取した1号機取水口(遮水壁前)、2号機取水口(遮水壁前)および1～4号機取水口内南側(遮水壁前)海水の分析結果において、セシウム 134、セシウム 137 および全ベータの値が前回値より上昇しておりますが、過去の降雨の際に同程度まで値が上昇していることから、今回の上昇についても降雨による影響と推定。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上